別記様式第１号（第８条第１項関係）

申請年月日　　（元号）　　　年　　月　　日

 **動 物 実 験 計 画 書**

東京海洋大学長　殿

**部　局　長 (自署)：**

**動物実験責任者(自署)：**

（申請者）所　属：

職　名：

氏　名：

東京海洋大学動物実験等取扱規則第８条第１項の規定に基づき，下記の計画による動物実験の承認を申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 動物実験主任者名（選択項目を■） | フリガナ |  | 部局等名（学科・専攻名も記入） | 職名等 | 教育訓練受講の有無動物実験等の経験年数 |
| 氏　名E-mail |  | 連絡先TEL |  | □有　　□無 |
| @kaiyodai.ac.jp | 年 |
| 動物実験実施者氏名（人数が多い場合は，別紙に作成し添付すること。選択項目を■） | ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  | 連絡先TEL |  | □有　　□無 |
| 年 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  | 連絡先TEL |  | □有　　□無 |
| 年 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  | 連絡先TEL |  | □有　　□無 |
| 年 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  | 連絡先TEL |  | □有　　□無 |
| 年 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  | 連絡先TEL |  | □有　　□無 |
| 年 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実験実施予定期間 | 承認後 ～ （元号）　　　　年　　　月 | 　 |
| 実 験 室（申請中は記入不要、承認済みの実験室を記入） | 実験室名 | （承認番号　　　） | 実験室名 | 　（承認番号　　　） |
| 使　用　動　物（選択項目を■） | 動物種 | 系 統 | 性 別 | 使用個体数 | 齢 | 生物学的保証 | 遺伝学的保証 | 入手先(導入機関名) | 備考 |
|  |  |  |  |  | □有　□無 | □有　□無 |  |  |
|  |  |  |  |  | □有　□無 | □有　□無 |  |  |
|  |  |  |  |  | □有　□無 | □有　□無 |  |  |
|  |  |  |  |  | □有　□無 | □有　□無 |  |  |
| 動物実験の目的 | 目的，意義，予想される成果について各項目ごとに記載する。（目的）（意義）（予想される成果） |
| 実 験 方 法（該当項目をすべて■） | □□□□□□□□□ | 1.　試料投与2. 材料採取3. 外科的処置4. 行動の観察5. 遺伝実験6. 感染実験7. 発癌実験8. 遺伝子組換え実験9. その他 |
|  | 実験の内容を下欄に具体的に記載する |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 特殊実験区分(該当項目をすべて■) | □□□□ | 1. 感染実験　安全度分類：　□ BSL1　□ BSL2　□ BSL32. 遺伝子組換え動物使用実験　区分：　□ P1A　□ P2A　□ P3A　（承認番号　　　　　　　　 　　）3. 放射線同位元素・放射線使用実験4. 化学発癌・重金属等実験 |
| 動物実験の種類（選択項目を■） | □□□ | 1. 試験・研究2. 教育・訓練3. その他（　　　　　　） | 動物実験を必要とする理由（選択項目を■） | □□□ | 1. 検討したが，動物実験に替わる手段がなかった。2. 検討したが代替手段の精度が不十分だった。3.　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 使用個体数が必要な理由 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 想定される苦痛のカテゴリー(該当項目を■) | □□□□ | A. 動物に対してほとんど　あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。B. 動物に対して軽度のストレス　または痛み（短時間持続するもの）を伴うと思われる実験。C. 回避できない重度のストレス　または痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験。D. 無麻酔の動物に，耐えうる限界に近い　またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 |
| 動物の苦痛軽減排除の方法（該当項目をすべて■，複数の薬剤を使用する場合はそれぞれについて記入。） | □□□□□□ | 1. 短時間の保定・拘束および注射など，軽微な苦痛の範囲であり，特に処置を講ずる必要はない。2. 長時間の保定・拘束が避けられない。（その理由を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）3. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず，処置できない（その理由を記入：　　　　　　　　）4. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。　　（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）5. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合，適切な時期に安楽死措置を取るなどの人道的エンドポイントを考慮する。6. その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 安楽死の方法（該当項目をすべて■，複数の薬剤を使用する場合はそれぞれについて記入。） | □□□□□ | 1. 麻酔薬の使用　　（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）2. 炭酸ガス吸入3. 中枢破壊（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）4. 安楽死させない（その理由を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）5. その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 動物死体の処理方法（選択項目を■） | □□ | 1. 外部業者に委託2. その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 備　　　　考 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 動物実験委員会記入欄※申請者は記入不要 | 審査終了：（元号）　　年　　月　　日 |
| 修正意見等 |
| 審査結果　　□　本実験計画は，東京海洋大学動物実験等取扱規則に適合する。　　　　　　　　□　本実験計画は，東京海洋大学動物実験等取扱規則に適合しない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学 長 承 認 欄※申請者は記入不要 | 承認：（元号）　　　年　　月　　日 |
| 本実験計画を承認する。　　承認番号：第　　　　　　　　　　　号　　承認期限：（元号）　　　　年　　　　月　　　　日　まで　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　東京海洋大学長　　　　　　　　　　　　　　　印 |